

一般質問

9月定例会



9月10日～12日の3日間にわたり、15名の議員から市政に対する一般質問が行われました。(掲載は次ページからになります。掲載の順番は質問順です。)

掲載内容は、一般質問および答弁内容の一部を抜粋し、各議員が作成した原稿を基に編集委員会において確認し編集しております。

なお、議長につきましては申し合わせにより、任期中は一般質問は行わないこととしております。

国民スポーツ大会調査・研究特別委員会

◆第7回委員会(10月2日)

市営飯山シャンツェ整備スケジュールについての確認、ジャンプ台整備方針全体について、改めて国民スポーツ大会推進課から聞き取りをし、質疑を行いました。

◆第8回委員会(10月14日)

ジャンプ台施設整備・後利用・財源関係、大会開催関係等について担当課に質疑を行いました。

◆第9回委員会(10月31日)

江沢市長から、ジャンプ台整備スケジュール、整備経費圧縮の検討状況について説明があり、その後質疑を行いました。

◆本委員会では、ジャンプ台整備に関する調査は第9回委員会をもっていったん区切りとし、今後は国スポ全体について、必要に応じて調査研究を行います。

「旧城南中学校利活用事業の公募」に関して
市有資産調査検討特別委員会を開催

10月15日から開始された「旧城南中学校利活用事業の公募」に関して、内容や条件等について議会への説明が不十分として担当課の説明を求めました。

令和5年9月に行ったプレサウンディング型市場調査から今回の公募に至る経緯や、公募要項の内容と市負担額

の算定根拠等について質疑を行いました。

委員からは、公募期間の短さや、最大8億円の市負担額について、またプレサウンディング型市場調査に参加した事業者への経過説明が行われないまま公募を開始したこと等への疑問点が挙げられました。

議会議員研修会



講師の廣瀬和彦氏

10月9日、株式会社廣瀬行政研究所代表取締役廣瀬和彦氏を講師に迎え、議員研修会を開催しました。

「議員の役割と仕組みを深める」定数・報酬から見る議員の責務」と題し、議員活動の意義や法的根拠、議会の存在意義、さらには議員のなり手不足解消に向けた方策などについて、他市の事例や飯山市の現状を踏まえた講演が行われました。

参加議員との活発な意見交換も行われ、議員としての責務を改めて考える有意義な機会となりました。

国民スポーツ大会開催・みゆき野の高校あり方



村松正勝議員

問 国の交付金適用は飯山シャンツェのみか。来年度も市の施設で申請可能か。

答 今回の対象は飯山シャンツェのみ。他の施設でこの交付金を活用して事業を実施する予定はないが、交付金の趣旨に合致すれば申請可能と思う。

問 飯山シャンツェ改修は未来に物心共に裕福なレガシーを残すと思うが市長の考えは。

答 国スポを契機とした施設整備には、国・県等の支援や時限立法の企業版ふるさと納税制度があり絶好のチャンス。市民と選手の記憶に残ることも、大会後の利活用につなげて大会や合宿誘致など地域経済に寄与するものと考えてる。

問 県教委から示された飯山高校と下高井農林の来年度以降の再編基準は。

答 「在籍生徒数が2年連続で120人以下の場合」と決定され、来年度から適用される。

問 4市村首長・教育長・両学校長による懇談会の内容は。

答 両校の現状や特色化取組等の報告・生徒数の見通しや卒業後の進路・再編基準などについて意見交換を行った。

農業施設の整備について



吉越利明議員

問 農業用水路の老朽化が進み、市単土地改良事業の要望箇所がここ数年増加傾向にある。予算増額を進め事業採択数を増やすべきと考えるが。

答 市の来年度予算編成に向けて事業促進の議論を進め、地域の実情を踏まえた上で農水省にしっかりと予算を取っていただきたいと考えている。

◆洪水時指定避難所について

問 これまでの答弁において市民の命と財産を守るという意識が欠如しているように感じる。6月定例会の答弁では、他地域の実績は参考としていない、国などの専門家の話も聞いていないとの事であり、計算上だけで、実際全員が避難できるという根拠がないと受け止めているが市の見解は。

答 市民の命を守り抜くと約束したい気持ちはあり、そういう気持ちで取り組むが、絶対にやれるという元壁主義は取れない。

◆新たな学校づくり計画

問 城南中学校区統合小学校について、計画では本年度に基本整備計画を策定とあるが。

答 現在は基本整備計画策定という段階には入っていない。

保育園等の連絡体制・高齢者支援・国スポ大会



常田徳子議員

問 児童クラブや保育園と保護者の連絡に、小学校で使用している連絡アプリの活用はできないか。

答 児童クラブにおいても使用は可能なので活用していきたい。市立保育園でも通信環境等の整備を進め効果的なアプリの運用に努めたい。

問 シルバー人材センターの果たす役割は大きい。補助金を含め今後の支援は。

答 引続き補助金の交付や市からの事務発注を通じて安定的な運営を支援していく。

問 白馬ジャンプ台は設備が整い観客席も駐車場も広い。国スポのジャンプ競技を白馬にお願する可能性はあるか。

答 2019年に飯山市として開催希望調書を県へ提出した経緯もあり、競技会場を返上する選択肢はありえない。

問 ジャンプ台整備が将来の市の財政や人的負担に与える影響についての考えは。

答 今回のシャンツェ改修のみならず、今後も様々な大型事業を予定している。現時点で具体的な数値等の見通しについてはお答えしかねる。

令和6年度決算と暮らしを守る施策について



小林喜美治議員

◆令和6年度決算について

問 決算の内容から見えてくる課題と今後に生かすべき教訓と財政見通しについて。また各分野において住民の声が大切にされ市民生活にどう生かされてきたのか。

答 令和5年度歳入比で自主財源比率が減少し、持続可能な財政運営が困難になる可能性が危惧されるが、収入源を多角化することで、交付金等に依存するリスクを軽減し、財政の安定的向上を図る。また市民の皆様の声に応え実現に至った施策は、市民生活の安定や地域社会全体の活性化につながるものと考えてる。

◆介護体制の充実について

問 介護保険制度開始から25年が経過し、制度の内容も大きく変わり複雑化している。共同通信社が行った全国首長アンケートでは、介護保険サービスの提供体制の持続に危機感を抱くという回答が97%になったと報告されている。飯山市はどう答えたのか。

答 6つの選択肢があったが、ある程度危機感があると回答した。

医療体制の将来
城テラス利活用
ジャンプ台改修

高澤富士子議員

問 飯山日赤の外来診療体制が弱体化しているのは医師不足が大きな要因と思われるが市としての取り組みを問う。

答 新院長とはお互いに協力していくという認識。市の奨学金制度を受けた方が今年10月から医師として飯山日赤で勤務を開始される。

問 2040年を見据えた新しい地域医療構想に備えて、また少子高齢化が進む当地で二次救急病院としての機能を維持するために、医療機器等の設備投資は必須であるが、支援について市の見解は。

答 ふるさと納税の使途選択項目に地域医療の充実というものがあるので、都度お願いをしている。

問 飯山城址公園の「城テラス」に絵本コーナーを常設して人の交流を図ってはどうか。

答 城テラスの魅力を伝える方法として絵本とのコラボは有効と考える。

問 ジャンプ台改修経費「第二世代交付金」申請にある黒字化とは具体的に何を指すか。

答 大会や合宿の誘致等の増収、支出抑制での黒字化。

水田渇水対策・
国民スポーツ大
会・主権者教育



萩原章一議員

問 この夏の記録的な猛暑と水不足により、市で取り組んだ渇水対策の効果と教訓について伺う。

答 初めての給水車による水田への配水は、一定の効果があつたと認識している。該当地区で立ち上げた渇水対策委員会の連携した取り組みは、自治の姿を考える教訓とも感じた。

問 二年半後の国民スポーツ大会が正式決定され、いかに飯山大会を最大限の努力で成功させていくかの立場が大事と思う。市民の理解と合意形成が不十分な状態ではないか。

答 国スポ開催を未来への投資と考える。財政負担が決して無駄ではなかったと示したい。市民の理解が得られるよう努力する。

問 7月の参議院選挙で、初めて飯山高校での期日前投票が実施された。その効果と検証について伺う。

答 投票権を持つ生徒の約60％が投票したと推定される。投票意識の向上と投票促進に一定の効果が得られたと考える。今後も学校側と協力して継続したい。

農業全般・ジャンプ台・駅前ホテルを聞く



佐藤正夫議員

問 農業をリードする組織を農村基本法が国で成立する頃迄に立ち上げると言ったが。

答 既に1年を過ぎており申し訳ない。飯山市農林畜産業ビジョン策定会議を立ち上げるよう農業政策課に指示した。

問 農林畜産業全般へと範囲を広げ過ぎると、どれも物にならないのでは。

答 一つずつ取り組むべきものから予算に反映させたい。

問 協働のいじしゅうぜん事業は、草刈り等で一堂に集合せずとも、地区の協働ならば個人行動でも対象にすべきと思うが。

答 状況にもよるが、相談していただければ柔軟に対応する。

問 国スポではジャンプ台がアイストラックでなければならぬとのルールはあるのか。

答 アイストラック等の設備でなければならぬというルールはない。

問 駅前ホテルは提訴されているが、その後の経過は。

答 最初に和解意思の確認があつたが、双方の主張が平行線のため、和解の協議は一旦終了すると裁判長が判断した。訴訟継続中で、9月中旬に6回目予定。

空き家・国スポ開催について



西澤一彦議員

◆空き家・特定空家対策

問 市内の特定空家を視察し、荒廃の状況に息をのんだが、「特定空家予備軍」が251戸に増加している。今後の対応策が重要と考えるが。

答 将来の大きな課題と認識している。空き家の適切な管理について所有者等に指導するなど、対策を講じてまいりたい。

問 家について家族で早めに話し合うことが重要。所有者や相続人の責任等、周知徹底すべきでは。

答 家の終活セミナー開催や、広報紙やホームページを活用し、市民への意識啓発や正確な相続知識の周知に努める。

◆国スポ開催について

問 飯山で開催する意義は。

答 施設整備や地域の活性化、若者の育成・強化や、住民のスポーツへの関心を高める効果等が期待できる。

問 シャンツェの維持や後利用は、他の日本を代表するような施設でも厳しいようだ。

答 後利用促進は大変重要と考え、大会等の誘致、観光誘客やイベントなど、多様な利用促進に向けた取り組みを進める。

ジャンプ台整備について



山崎武雄議員

問 ジャンプ台整備費用として、補正予算と13億2800万円の債務負担行為が9月議会に提出された。なぜ高額な整備費になったのか。

答 ジャンプ台整備検討部会の提案を受け、昨年度実施した基本設計の額を基に工事管理業務委託料と契約までの物価スライド等を考慮して算出した金額である。

問 整備をしてもスロープカーで踏切場所までしか行けず、そこからスタート地点までは歩き。選手はリフトのない飯山を選んでくれるのか。

答 飯山シャンツェには他の施設にない優位な面がある。立地・交通の便の良さやメディアとノーマルが両方そろっている点である。これらを生かして利用促進を図る。

問 ジャンプ台整備は最小限に留め、優先すべきは駅前開発ではないか。

答 市内経済を発展させることを重要課題の一つとして取り組んでいる。その一環としてジャンプ台整備をしつかりと行い、活用することによって経済効果が期待できる。

住宅耐震改修促進計画・国スポ大会について



高橋達幸議員

問 現状の住宅耐震化率は。

答 令和6年度は76・81％。

問 現状での耐震改修費用の補助金額は。

答 補助率は工事費の5分の4以内で、上限額は令和7年度は140万円。また長野県は耐震診断の総合評価がより高い改修に対して独自に50万円の上乗せ補助を行っており、該当する場合は補助上限が190万円となる。

問 国内大会の基準内でジャンプ台を改修すれば、約10億円は節約できるのでは。国スポ大会後更に2期工事分で約3億円を計上しているが。

答 安全かつ公平な国スポ開催と、その後の利活用を考慮して、一連の改修が必要と考える。現在の計画にジャンプ台の将来像の提案内容は含まず、2期工事との位置づけにはなっていない。

問 今回のノーマルヒル改修計画と運営を、県にお願いしてはどうか。

答 県教育委員会からは令和5年に維持管理の大変さを理解いただいた上で、県営化は困難との回答をいただいた。

一般質問

ジャンプ台改修職員採用条例飯山産大豆みそ



松本淳一議員

問 ジャンプを通年競技とするためにサマー化は必須だが、アイストラックは必要か。

答 競技の公平性の確保、気象の影響の軽減、整備作業の省力化の面からアイストラックの整備を計画している。

問 ジャンプ台改修費と市予算の関係は。

答 改修事業費は約13億7000万円。そのうち市一般財源の負担は約1億5000万円。

問 ジャンプ台改修について、市長の考えを問う。

答 2019年以降、市が約束してきたことを果たし、スポーツや観光、地域づくりに結びつくものであつてほしいと思う。

問 任期付職員の採用の条例案は3度目だが、専門職では一本釣りの採用はあるか。

答 特別な事情がある場合を除き公募とし、採用は公正に行われる。

問 飯山産減農薬大豆のみそを給食用に使うことが可能か。

答 減農薬大豆の入手が可能か、みそ屋さんに対応いただくことが可能か、コストも含め現実的なものかどうか等、様々な検討が必要と考えられる。

飯山地区の水害への備え・今後の財政運営



波川芳三議員

問 南大手門での貯水池整備計画の目的は何か。

答 令和3年度に策定した下水道全体計画に基づき、市街地の浸水解消等を目的としている。市街地に7カ所の貯留施設を整備し、3万3900立方メートルの貯留を目指す。

問 この計画は4年前に策定されている。日本の気候は変わってきていること、建設資材の高騰が進んでいることを考えると計画の見直しを検討しても良いのではないか。

答 工法等を検討し事業費の削減を図る。また国・県の動向を見ながら事業を進めたい。

問 このところ、城北小学校の建設や関連道路整備等を行ったり、今後は蓮地区の遊水地整備など大規模事業を予定している。事業の実施にあたっては、事前に議会に丁寧な説明を行うべきと考えるがどうか。

答 特に大型の公共事業については、その必要性や積算の根拠、後利用計画等について丁寧で透明性のある説明を行うことが重要と認識している。

人口減少への対策について



山崎一郎議員

問 地域おこし協力隊員は住民票を市内に移すことで人口増にカウントされるが、同時に生活の拠点を市内に移し地域活動に従事するよう総務省の要綱に定められている。どのような方法で確認しているのか。

答 住民票を飯山市に移しているか確認することを基本に、隊員本人に直接ヒアリングを行い、当市に住んでいるという意思表示を確認している。

問 飯山地区には4区に7名の隊員がいることになっているが、いずれの区長さんも隊員の居住を確認できていない状況である。ある区長さんからは「区に住んでいるなら区費を払ってもらわなくてはいけない」と言われた。区長さんとの連携を大事にすべきと思うが。

答 新規の隊員にはそのような留意点も伝えたいと思うが、区費とは自治会に入るかどうかというところで、そういう意味では強制ではない。現に市内にも区に所属しない方はおられる。それが良いと申し上げているわけではなく、強制すべきものではないということである。

飯山シャンツェの国スポへの改修について



高橋春三議員

問 ジャンプ台の制作スタッフ不足と整備の現状は。

答 ジャンプ台の制作には多大な労力と危険を伴う。それらを解消するためにもアイストラック整備を計画している。

問 ジャンプ台オールシーズン化の改修費用のリスクヘッジは十分に可能と考えるが。

答 3つの台のオールシーズン化により、競技会等の誘致を進め、地域経済や地域活性化に寄与する設備になる。生じるリスクを将来の好循環に転換させていきたい。

問 維持費を賄う収入はジャンプ台存続の前提。大会や合宿誘致の見通しや、利益を循環させる経済的な仕組みの取り組みについて伺う。

答 関係団体の協力のもと大会等の誘致を進めたい。継続的で適切な維持管理推進等、他自治体等の取り組み事例等を研究してまいりたい。

問 ジャンプ競技ならぬジャンプ台競争の様相。ジャンプ台整備への覚悟を伺う。

答 全力で取り組み、やってよかったと後の人が思えるよう、あらゆる努力をしていく。

飯山城址公園の施設整備・部活動の地域展開



岸田眞紀議員

問 現在飯山城址公園内にある2カ所のトイレは、和式中心のため、高齢者や小さな子ども、外国人にとって利用が困難な状況である。手洗い設備も手動式なので便器の洋式化と手洗い設備の自動水洗化が必要と思うがいかがか。

答 利用者の皆さまからも和式トイレは使いづらいと指摘をいただいている。また手洗い設備についても衛生面、利便性の観点から改善の必要があると考えている。今後は改修計画を立て、補助事業等による財源確保を行いながら、施設改善に努めてまいりたい。

問 急速に進む少子化と教員の働き方改革に対応するため、部活動の地域展開が進められている。指導者の確保や経費等の問題で、市村の取り組みに違いがあるようだが、当市の状況は。

答 地域連携コーディネーターを主体とし、休日を中心とした部活動の地域展開についてスポーツ団体等と協議を行い、受皿となる条件が整った競技から地域の指導者による指導への移行に着手している。